

<Cacco 企画>

わたしのファッションテーマ



Tomy Jr.

ファッションというと、私の母校である玉川学園の創立者であり総長、我々がオヤジと呼んでいた小原国芳先生が口癖のように言っていたことを思い出す。

「服装は人格を宣言する」・・・シェイクスピアの戯曲に出てくる台詞だそうだ。

ファッションは服装だけではなく、髪型や女性なら化粧、持ち物、クルマ、家などライフスタイル全般に及ぶものだと思う。

日本では、ボロアパートに住んで高級外車を乗り回したり、毎日カップラーメンすすって高級ブランドバッグを買うなどが日常起こりうるが、いかななものかと思ってしまう。

自分の暮らし向きや生き方に合った服装をし、モノを持つのが自然であり、それこそファッションナブルだと思う。

船旅で何等の切符を買うか、幾つの星のホテルに泊まるか、はその時の所持金によって変わるのが日本流。

だが、欧米なら所持金に関係なく、自分の日頃の生活に近い等級の部屋を選ぶ。

普段から自宅に給仕がいる生活をしている人なら特等（ファーストクラス）に乗らないと不自由だが、いくらお金があっても日頃から気軽な生活をしている人はそんな部屋は窮屈でくつろげないだけで、自分が日頃過ごしている暮らし向きに近い方が過ごしやすいからである。

日常の暮らしにもハレとケなど、メリハリはあった方がいいが、滅多に着ない人がタキシードを来てホテルのボーイと間違われるだけだし、高級ブランドバッグを持ってチンケな服と靴だったらご主人様の荷物持ちの召使に見えるだけだろう。

高級毛皮のコートを着て電車に乗っている人もおかしい。

そういう格好をしている人は本来、運転手付きのリムジンで移動するものだからである。

私はブルジョアを礼賛するつもりはなく、むしろ贅沢な身なりや華美な服装は愚の骨頂だと思っている。

自分がどんなに財産があったとしても着るものに何百万円も投じるとするのは浅ましいと思っている。

日本の皇室を見れば日本人の美意識が分かるはずだ。

彼らはどこぞの王族のようにヴィトンのバッグなど持たないだろう。

質素が品格を表すことを心得ているからである。



洋服など着る物を選ぶ際の私の基準は、冬物の場合は保温性が良くて、出来るだけ安いもの、夏物の場合は吸湿性が良くて、出来るだけ安いもの、それだけです。

ブランドは全く無視。ブランドのマークがつくだけで値段が跳ね上がるなどとは全く馬鹿な話しにしか思えません。

夏物も冬物も十着以上あって、もう死ぬまで着る物を買う必要はないのではないかと思います。

問題はいつそうした着る物を捨てるか、です。勿体ない精神が旺盛な私は着る物もなかなか捨てられない。三十年近く前に買ったブレザーを未だに着ています。

中には洗濯を繰り返して白く色あせた茶色のカッターシャツもありますが、これだってまだ着てる。シューベルトも家が貧しくて、いつも白く色あせた服を着ていたため「粉屋の息子」とあだ名されていたそうですが、僕もあまりそれが気になりません。とは言ってもそれは家の中で着ているときで、外に出るときはやっぱり色あせたものは敬遠します。

ちゃんと洗濯をする、破れは繕う、これさえやっていれば服はいつまでも着れます。最近困るのはパンツ（下着の）がゴム一体型になっていて、それが緩むとはけなくなることです。昔はゴムを入れ替えればはけた。いまは生地はどこも破れていないのに、ゴムが馬鹿になってしまっただけではけなくなる。全く残念な事です。

生地が擦り切れる寿命とゴムの寿命を出来るだけ近づけて欲しい、そう切に願います。



ファッションにこだわりがあるのかなのか、自分ではあまり考えたことがなかったのですがこの企画を機にちょっと振り返ってみようと思います。

子どもの頃は、とにかく毎日オーバーオールを着てました。だって、屋根から飛び降りても、塀を乗り越えてもドロップキックしても、脱げる心配がないから！

トイレの脱ぎ着が大変でも、たとえトイレで胸ポケットに入れたお小遣いをぼっちゃんと落としたとしても、毎日毎日着てました。親戚のお姉さんの結婚式で着せられた着物に耐えられず、披露宴の途中で「トイレに行く」と言って、親族控え室でオーバーオールに着替えて席に戻ったときには、母から人生で3番目くらいの大目玉をくらいました。

そのくらいオーバーオールに LOVE でした。

でも、これはファッションテーマとはほど遠い感じです。

ファッションを気にし始めたのは、小学校高学年になったころでしょうか。姉は女の子らしい可愛い服が好きで、事実それが良く似合っていました。どう見ても私の素行とその類いのファッションは見合わず、姉とは対照的な黒や紺などのダークカラーの洋服を好むようになりました。

中学生になると、ますますその傾向が強まりましたが、この頃になると、時々スカートを履くようになります。なんのきっかけかわかりませんが、制服でスカートの拘束される時間があり、スカートに慣れてきたんだと思います。

でも、当時の写真を見るとやはりモノトーンファッションが多いです。

高校生になると、オシャレなお友達が増えてきます。このころは DC ブランド全盛期で、コムサやギャルソンなどのモード系や BEAMS やラルフローレンなどの綺麗系カジュアルの洋服を姉や兄におねだりしていた記憶があります。

そうはいつでも高校生なので、ジャケットやスーツではなくブランド服は T シャツやブラウスのみ、ボトムは Lee やリーバイスのジーンズ、靴はジャックパーセルを愛用していました。時々姉のポンプスやカーディガンをこっそり借りては夜お出かけしたりもしました。最も好きだったブランドはアニエス b.だったかな。

働き始めてからは、制服は膝上丈のスカートだったのでスカートへの抵抗は全くなくなりました。むしろ、この頃はジーンズはほとんど履かずミニスカートばかり履いていたような感じです。百貨店の統括部勤務だったので、いろいろなブランドの洋服を社員割引や友人割引価格で購入しては楽しむように。今まで着ることのなかったピンクやベージュなどの優しい色合いの洋服をチョイスできるようにもなった時期です。

ナチュラルビューティーなんかが好きでしたが、あまり特定のブランドに偏ることはなかったです。

基本はシンプルであまりたくさん色を使わない洋服選びをしますが、時にはプッチ柄のような遊び心のある色使いを着てみたり、その日によって全く傾向の違う洋服を着ていました。

それから結婚し妊娠し子育てしている私ですが、今ではまたシンプルな路線に戻り、黒系のファッションが多いです。スカートよりジーンズが多く、特に misssixty のデニムを愛用しています。でも特定のブランドにこだわってるということはなく、ユニクロやしまむらでお気に入りを見つけることもあれば、ごくたま〜にですが GUCCI や PRADA で T シャツを買うことも。GAP やユニクロだと、子供服でジャストサイズを見つけられるので、良いデザインのものがあれば、躊躇無く子どもサイズを買っちゃいます。流行ものは 1~2 年しか着ないことも多いので、安いもので充分！

ただし定番のものは、多少高くても良いものを大事に着るようにしています。GUCCI の G ジャンなんかは 10 年以上着てますが、合わせるものを変えていけば、まだまだ充分着れます。最近では、長男のミリタリー系のコートを借りたり、息子が私のダウンベストを着たりと、共有できることが増えてきました。きっと来年か再来年には息子の服の方が大きくなるので、こういうことが楽しめるのも今のうちですね。

こうして振り返ってみると、私は基本的には無難な色目、特に黒が好きなんだと感じます。迷ったら絶対に黒を買っちゃうし、黒は背を高く見せてくれると、そしてほっそり見せてくれると信じてます（笑）



yuko

ファッション感・・・まったく感覚ゼロなので、参加しにくいです（笑）ただ・・・もう年だから・・・とか考えるのはだめですよ。若い時はスタイルも良かったので、何を着てもまあまあ様になっていましたが、最近はどうも体型的なもので、選ぶものも限られてしまいます。ファッション雑誌もほとんど読まないし。

この企画のおかげで、もう少しファッション感覚を取り戻したいと、考えています。



日出彦

今号の企画は自分にとって最も苦手な分野です。ファッションはほとんど興味がありません。衣類は家内まかせで過ごしてきました。ブランドも知らないし、身につけたいグッズも特にありません。若いころ、グリーン系のスーツに憧れたときがありましたが、今は強いていけば濃い目のブラウン系が好きになっています。

現在は大学に行くにもノーネクタイでほとんど過ごしていますが、有職時代はきまぐれにネクタイを自分で買ったこともありましたが、自分でいいと思った柄は妻には派手すぎと不評でしたが、歳を重ねるにつてあまり文句をいわれなくなりました。多分、妻に合わせるようになったのでしょう。それとも、諦めたのかな。

ところで、大学の研究室は、書籍等で雑然としていますが、みゆきグッズにフォーカスしたマイスタイルを構築しているつもりです。広義のファッションといえませんか。



Cacco

洋服はとっても好きです。一度お金のことを考えないで買い物をしてみたい。一度と言わず、ずっとそういう風買い物してみたら、もう洋服なんか買わなくていいという域に辿り着くのか、どこまで買いまくればその域に達するのか。お金が無くなるまで、無くなっても借金してまで、自分がどこまで行くのか実験してみたいけれど、その前に恐ろしくてそんなことができないという程度の人間です。

ブランドには全くこだわらないけれど、好きな傾向の服はもちろんあります。ひとことといえば若づくり。若い子ファッションが好きです。それにしても今はアンチエイジングと言うんですか？たとえば母親と娘のファッションに差がなくなってきてますよね。娘がいれば兼用できる。うらやましい。BEAMS好きなわたしのチル友のファッションは彼女が娘だったらばっちり兼用できる。洋服全部借りちゃいます。だいたいストレートデニムにTシャツ、パーカーなどの性別なしファッション。そしてわたしたちはときどき一緒に大好きな桜井くんとお揃いのTシャツを買ったり帽子を買ったり、あのベルトは素敵だけど高くて買えないね、などとかわいい会話を交わします。お恥ずかしい。

そうそう「わたしのファッションテーマ」でした。「いかに着ている洋服を高く見せ、素敵に着こなすか」ってことでしょうか。全身ユニクロだってユニクロに見えない自分がいたら素敵です（いえ、ユニクロを悪く言う気はないです。いかにユニクロを上手く使うか、です）。今年はどうやらシャツが流行らしい。そういえばシャツカラーのダンガリーのワンピースがあったなと思いつき、30年前くらいのワンピースを屋根裏から引っ張り出してみました。さっそく着てみる。上にGジャンを合わせる。あら、なかなかいいじゃない。この冬にはやはり30年以上前のデザイナーブランド全盛の頃のワイズのジャケットを愛用しました。これに手持ちのこれを合わせてあのストールをすれば・・・なんて、ばっちりハマったときが最高の気分。ファッションだって頭を使うんですね。

ま、全般チープで年齢不相応なファッションなので品格に欠けるのがCaccoファッションの欠点と、思いつきり自覚はしていますが、ファッションなんて所詮は自己満足。好きなかっこうを楽しく頭使って仕上げる。誰かに後ろ指差されてもこれからもわが道を行く予定です。

TICA

その昔、大きい靴のサイズ（今じゃ普通の24.5cm）がなかなか売ってなくて、入ったら買っていた。それが今は洋服に起用されている。流行は気にしない。が、しかし私のファッションテーマは【着痩せする】。入ったうえに着痩せしないとイケない。でもって欲を言えばカッコイイ。となると買い物する店は自ずと決まってくる。

買い物の殆どはヒステリックグラマー。体型的な無理が来るまで年齢的な無理を押しとおす。TPOはわきまえても年相応の服は着ない。

先日、賢太郎の舞台を見に行ったときに金髪で小柄な60才くらいの方がヒスのTシャツにじゃらじゃら鎖をつけたヒスのショートパンツを履いていた。【人のふり見てわがふり直せ】が浮かんだが、似合う服と好きな服が違うならどちらを取るのも自由なものね。

お互い頑張ろう、金髪の人。

↓ヒスの服たち。Caccoさん、お願いだからお揃いで買おうというのやめてね^_^;





うさおはファッションに無頓着であるが、儀礼的なことには執着します。葬式、結婚式は黒服、ネクタイは白と黒、あっ、間違い、黒と白。何時だったか、大学の友人の結婚式に黒服を着て行った。もちろんネクタイは白。友人との雑談の中で、「そういえばこの服の内ポケットに、何時でも使えるように黒ネクタイを入れてあるんだ」と見せたら嫌な顔をされた。今でも申し訳ないと思っているよ。

うさおはカジュアルウェアを持っていない。スーツかアウトドア用のウェア（というか作業服のようなもの）を好んで着用している。ゴルフウェアとか、ブレザーとかを持っていないので、そのようなスポーツは当然しません。友人から貰ったゴルフのフルセットはあるが、5番とスプーンしか使ったことが無い。打ち放し場に行く時には、そのクラブしか球に当たらないからだ。だからゴルフウェアなんて嫌いさ。

出張だって着替えるのが面倒くさいのと持っていくものが多くなるので、作業服のまま新幹線とか飛行機に乗っちゃう。周りの人は少しお洒落をして乗っているが、ごめんね、変なおじさんが座ってて…。しかも膝にパソコンを開いているなんて、アンバランスだね。でも最近新幹線の中をよく見ると、作業服で出張している人が多くなった。うさおの時代が来たかな。

それでも20代の頃には、上から下まで黒づくめのファッションでした。黒のタートルネックに黒のズボン。お安かったファッションです。今だと古畑任三郎のようなお金の掛ったファッションになるのですが、あの頃は全共闘華やかなりし頃、「赤頭巾ちゃん気を付けて」の庄司薫ファッションだったのです。ミーハーだったんですね。この時代最も傾倒したのは、岡林信康。ノンポリ、ノンセクトだったうさおには無縁の反戦ソングだったが、なぜかとても好きでした。あの風貌ですかねえ、今でも時折TVに出てくるとわくわくしながら、やはり黒のタートルネックだったよなあと思ううさおでした。

最近、Yシャツは白ではなく色に入ったものをよく着ている。汚れが目立たないからだ。でも、Yシャツのカラーに合わせて、ネクタイを選んでいるよ。

どうです、なかなかのお洒落さんだと思いませんか？えっ、センスが必要だ？…。

苦手だ、それっ…。

